



主な意見交換

第1回の協議会で出されたさまざまな提言から、以下の活動理念と基本方針の原案が作成されました。今回の意見交換は、この原案をもとに、内容確認とより具体的な活動についての検討が行われました。

ながやま子どもの水辺協議会

活動理念

地域の人々の手で子どもの水辺をつくり、そこでの楽しみ方・学び方の幅を広げていくとともに、環境教育・マナー教育とともに世代間の交流を深めるなど、地域の大人たちが幅広くバックアップしながら、子どもが生き生きと遊び、学べる水辺空間づくりをめざします。さらに、新しい水辺づくりのあり方を、石狩川上流域から広く発信していきます。

5つの基本方針

- ①住民参加型でめざす「都会の中の自然づくり」
- ②自然体験活動の支援
- ③事故防止および安全管理への取り組み
- ④川を守り、清流をつくるための取り組み
- ⑤地域間交流の推進と川のネットワークづくり

住民参加型でめざす「都会の中の自然づくり」および自然体験活動の支援について

- イベント時だけでなく普段から子どもが遊びに来られるような状況を整えれば、子どもは来やすくなるのではないかと。
- 子どもは川に入りたがるから、安全に遊べる空間をどれだけ川の中に設けられるかが課題だろう。
- 保護者が永山新川を知っていれば、子どもだけで遊びに行かせても、あそこなら安心だと思えるだろう。
- 地域住民の手によって安全な遊びのコー

スをつくり、子どもだけで遊べるようにしたい。そうすれば、安全に楽しく遊んだ子が他の子どもを誘うなどして、子どもたちが集まる水辺になっていくだろう。

- 協議会の委員も含め、大人たちが机上論ではなく、実際にいろいろ体験することが大切。

事故防止および安全管理への取り組みについて

- 事故防止・安全管理は、川への理解を深めてもらうのと平行して取り組まなければならない重要事項。遊びのセッティングと同時に、安全確保の方法も重視する。
- 専門家によるレスキュー講習やゴムボートでの避難訓練などを体験するとともに、簡単な親子安全教育などの講習も行いたい。
- 安全対策・安全管理については、さまざまな情報を集めるなどして、今後も協議会で深く検討していきたい。
- 永山新川に慣れてくると、子どもたちはよりワイルドな川へ関心を持つようになるので、安全管理をしっかりする必要がある。

川を守り、清流をつくるための取り組みについて

- 川をゴミで汚れているのは、実際は大人なのだから、大人へのマナー教育が最も重要。監視体制も検討すべきでは？

地域間交流の推進と川のネットワークづくりについて

- 将来的には、永山新川を中心に旭川市内全域、さらには上川管内へと、石狩川流域のネットワークを広げ、活動をしていきたい。

その他の意見

- 浅くて流れの緩やかな川でも、魚や珍しい虫などの生きものがいれば期待度は高まる。また、キャンドルづくりなどの環境教育等と結びつけたプログラムもあると、さらに興味も深まるのではないかと。

- 子どもたちは楽しいことがいろいろな分野への入り口となり、学問へとつながると思う。
- 永山新川で体験できるのはカヌーまで…というように上限を設定し、「ながやま子どもの水辺」の役割を明確に示せば、安全対策の枠組みもできるのではないかと。
- 子どもだけでなく、保護者も一緒に参加できるイベントを設ければ、やがては保護者も意欲的になってくると思われる。

オブザーバーからの提言

- 大人が楽しめる場所なら、子どもも楽しめると思うので、アンケートなどを取って参考にしたい。
- 親も子ども外に出て遊びたいが、安全に遊ばせられる場所がないと感じていた。だから、子どもの水辺にはたいへん期待している。

以上のような意見交換をふまえ、次回の協議会ではいよいよ「子どもの水辺」登録に向けた体制づくりを検討いたします。



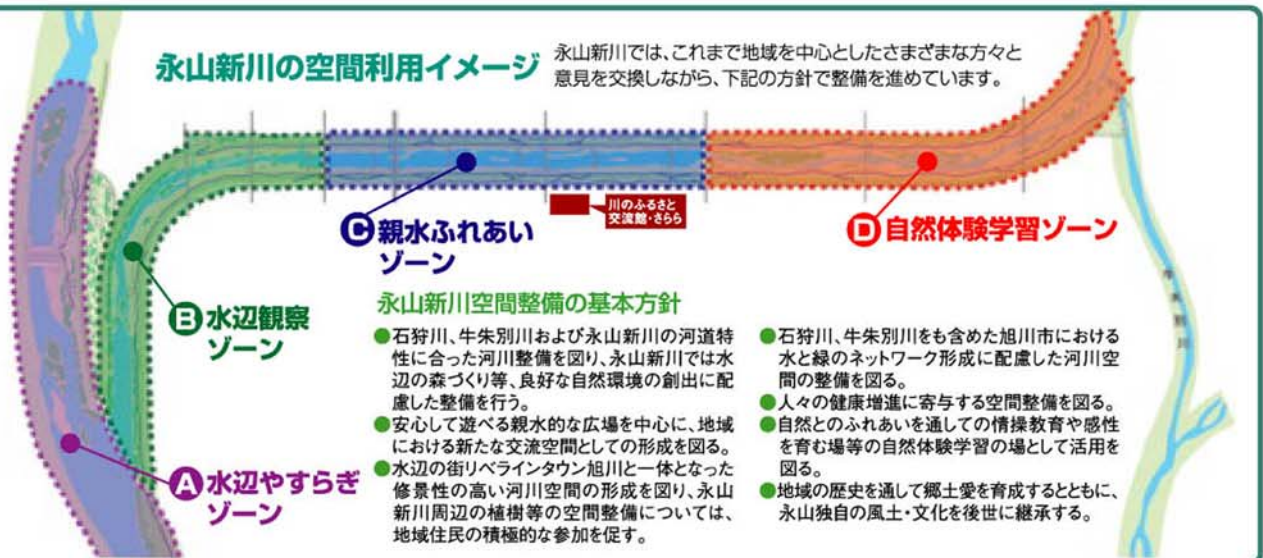
「子どもが安全遊べる空間を川の中にどれだけ設けられるかが課題」と話す、永山東小の金子校長（左）。右は永山小PTAの太田会長。



児童クラブホロホロ代表の谷地元さん、オブザーバーの梅野さん、オブザーバーの相内さん。

永山新川の空間利用イメージ

永山新川では、これまで地域を中心としたさまざまな方々と意見を交換しながら、下記の方針で整備を進めています。



永山新川空間整備の基本方針

- 石狩川、牛朱別川および永山新川の河道特性に合った河川整備を図り、永山新川では水辺の森づくり等、良好な自然環境の創出に配慮した整備を行う。
- 安心して遊べる親水的な広場を中心に、地域における新たな交流空間としての形成を図る。
- 水辺の街リベライタム旭川と一体となった修景性の高い河川空間の形成を図り、永山新川周辺の植樹等の空間整備については、地域住民の積極的な参加を促す。
- 石狩川、牛朱別川をも含めた旭川市における水と緑のネットワーク形成に配慮した河川空間の整備を図る。
- 人々の健康増進に寄与する空間整備を図る。
- 自然とのふれあいを通しての情操教育や感性を育む場等の自然体験学習の場として活用を図る。
- 地域の歴史を通して郷土愛を育成するとともに、永山独自の風土・文化を後世に継承する。